

令和6年2月21日

保護者様

富士市立原田小学校
校長 大橋 幸治

令和5年度 後期 せせらぎアンケート（学校評価）集計結果について

保護者の皆様には、日頃より学校の活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。ご協力いただきました、全校児童及び保護者を対象にした「後期 せせらぎ（学校評価）アンケート」の結果をお知らせします。本校ホームページでも全項目のグラフを公開いたしますのでご覧ください。今後ともどうぞよろしく申し上げます。

※評価段階の「はい」「どちらかといえば はい」「どちらかといえば いいえ」「いいえ」の4段階については、「はい」と「どちらかといえば はい」を合わせたものを肯定的な意見として考えました。

	質問項目	肯定的な意見(%)			
		児童		保護者	
		前期	後期	前期	後期
1	児：学校が、楽しい。/保：学校に楽しく通っている。	94.1	92.5	97.3	97.6
2	児・保：自分の「いいね」を見付けようとしている。	84.0	79.7	87.3	90.5
3	児・保：目標をもってがんばっていることがある。	94.1	90.7	90.2	91.4
4	児・保：きまりやルールを守って生活している。	95.9	93.6	94.9	93.2
5	児・保：みんなと勉強をするのは楽しい。	93.9	92.2	93.1	92.9
6	児：授業が分かる。/保：授業が分かっている。	93.9	91.9	88.4	89.2
7	児：新しいことができるようになったり、分かったりするとうれしい。 保：新たに学ぶことを喜んでいる。	96.8	96.0	92.0	89.6
8	児・保：家庭学習に進んで取り組んでいる。	87.5	85.1	74.1	75.6
9	児・保：読書に進んで取り組んでいる。	86.8	78.7	60.0	57.5
10	児：授業の中でタブレットPCやプロジェクターを使って学習する。 保：家に帰ってからタブレットPCを使って学習している。	90.9	99.7	77.7	69.6
		週1回以上使っている。			
11	児：たてわり活動やペア学年の活動が楽しい。 保：自分のクラス以外の友達との活動を楽しんでいる。	95.3	96.5	95.6	95.8
12	児・保：係や委員会の仕事を進んで行っている。	91.2	93.0	95.9	95.8
13	児・保：友達「いいね」を見付けようとしている。	91.9	88.4	92.8	95.8
14	児・保：ハンカチ・ティッシュを持ってきている。	78.7	75.8	81.9	83.4
15	児・保：地震や火事など、緊急の時に、自分の命を守るために、考えて行動することができる。	97.6	95.6	81.9	82.8
16	児・保：困ったことがあった時、先生たちに相談することができる。 児・保：安心して学校に任せられる。	86.8	82.3	98.0	98.6
17	児・保：コミュニティ・スクールやふれあい協力員など、地域の方や保護者の方々が、学校のためにボランティア活動をしてくださっているのを知っている。	88.9	91.3	94.7	96.1

【 アンケート結果から 】

1. 学校生活全般について

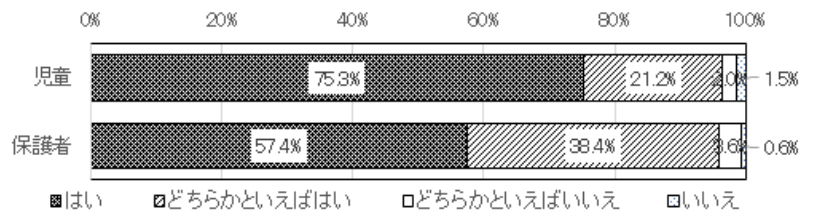
全体的に、90%を超える結果が出た項目が多く、前期同様に肯定的な回答を得ることができました。

後期になり、たてわり活動、児童集会、原田っ子まつりと、学年・学級の枠を超えた活動が本格的に始まり、子供たちが楽しんで活動している様子が、結果からも表れています。

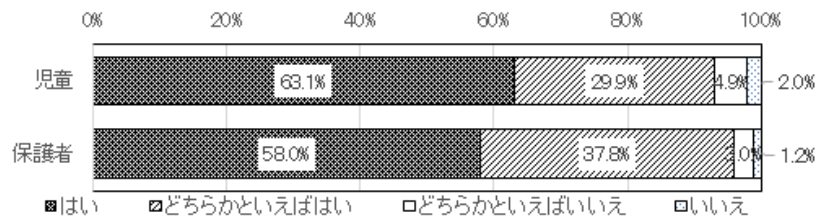
コロナ禍のために昨年度まで、活動が縮小傾向であった委員会活動でしたが、図書委員会の読書旬間の読み聞かせや環境委員会の落ち葉掃きなど、原田小学校の仲間が快適で楽しく生活できるようにと子供たちの考えたいろいろな取組がされました。2月14日(水)には、4～6年で委員会引継ぎ式が行われ、6年生から5年生へ原田小学校のリーダーの活動が引き継がれました。来年度も、子供たちが友達と協力し、みんなのことを考えた活動が、たくさん行われることを期待しています。

11. 児:たてわり活動やペア学年の活動が楽しい。

保:たてわり活動やペア学年の活動のような、自分のクラス以外の友達との活動を楽しんでいる。



12. 児:保:係や委員会の仕事を進んで行っている

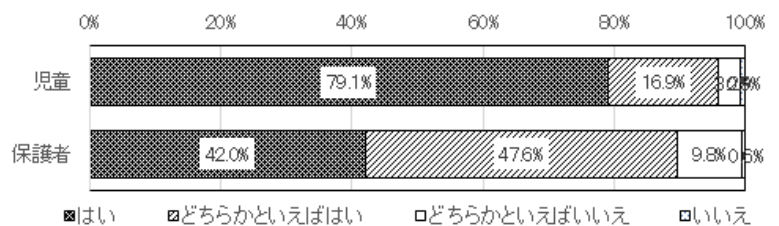


2. 学習面に関係したもの

「新しいことができるようになったり、わかったりするとうれしい。」の質問に対して、96%の肯定的な意見という結果となりました。「授業が分かる。」「みんなと勉強するのが楽しい。」の学習に関係する項目も、90%以上の結果となり、子供たちが、前向きに友達との学び合いを楽しんでいる様子が分かりました。

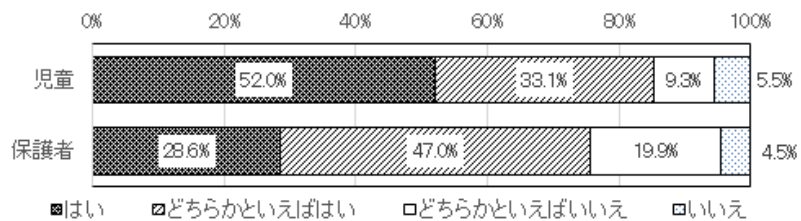
7. 児:新しいことができるようになったり、わかったりするとうれしい。

保:新たに学ぶことを喜んでいる。

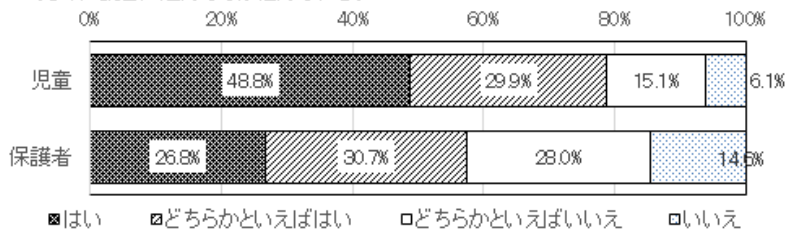


しかし、「家庭学習に進んで取り組んでいる。」は、児童 85%、保護者 75%、「読書に進んで取り組んでいる。」は、児童が 78%、保護者は 57%という結果となりました。家庭学習の提出は、ほとんど全員がしっかりできている状況ですが、この結果からみると、ご家庭での声掛けやご協力があって取り組めている様子が見えます。家庭で自分から授業の復習をするということは、学習の習慣化のためにも大切なことです。お忙しいとは思いますが、家庭学習の見届けや声掛けをしていただき、今後ともご協力をお願いします。また、読書の取組についても、例年低い結果となっています。おすすめの本を紹介したり、ペア読書を行ったりして、読書の励みとしています。学級全員で図書室に本の貸し借りに出掛けるなど、図書室をより身近な場所にして、本に親しんでいきたいと思っています。

8. 児・保:家庭学習(宿題など)に進んで取り組んでいる。



9. 児・保:読書に進んで取り組んでいる。



3. 来年度に向けて

今年度は、「あなたに『いいね。』自分も『いいね。』」を重点目標とし、子供たちが、友達の良さだけでなく自分の良さにも気付き、自信をもって学習や学校生活に取り組んでいくことを目指してきました。来年度は、ここから一歩進んで、みんなのために自分ができることを見つけて実行することを大切にしていきたいと思っています。これによって、自分の力がまわりの人のためになることを実感し、子供たちの自己有用感が高まっていくことをねらいとしています。

今後とも、原田小学校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いします。

